

市民の皆さんの声、 聞かせていただきました

【問い合わせ】
総合政策課
☎ 22-9620
FAX 22-9672

【伊賀市 まちづくりアンケートとは】

平成19年度に始めたアンケート調査で、総合計画に掲げる伊賀市の将来像の実現に向けて、まちづくりに対する市民の皆さんの意識を知るためのものです。

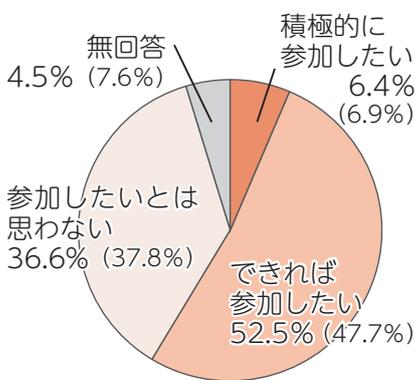
平成26年3月には第2次伊賀市総合計画を策定したことから、新たな枠組みでの各政策に対する市民の皆さんの「現状での満足度」、また「今後の重要性」を知ること、現在行っている事業の分析や今後の方向性について検討することが今回の調査目的です。

【調査結果の抜粋】

●定住意識

今の所に「将来も住み続けたい」「できれば住み続けたい」と思う人の割合が、約75%を占めています。その理由として、土地への愛着や隣近所との付き合いをあげている割合が高く、一方で、「移りたい」「できれば移りたい」理由として、通勤・通学・買い物・医療など、生活上の不便さをあげている割合が高くなっています。

●まちづくりへの市民参加



問：市政への参加について

()内は、平成25年市民意識調査の数字

半数を超える人が、市政に参加したいとの意欲を持っています。一方で、参加したいとは思わない人も40%弱にのぼっています。また市民と行政との協働のまちづくりのための有効な手法としては、情報の公表や意見交換の場の設定などが重要視されています。

●各政策の満足度・必要度の分布状況

市の政策に対する満足度・必要度についての質問では、すべての政策において、市民の半数以上の皆さんが満足いただけていないという結果でした。

【調査対象】

住民基本台帳に登録されている、市内在住の18歳以上80歳未満の市民2,222人を無作為に抽出し、調査票を送付しました。

※日本籍2,159人 ブラジル籍47人、中国籍16人

【調査期間】

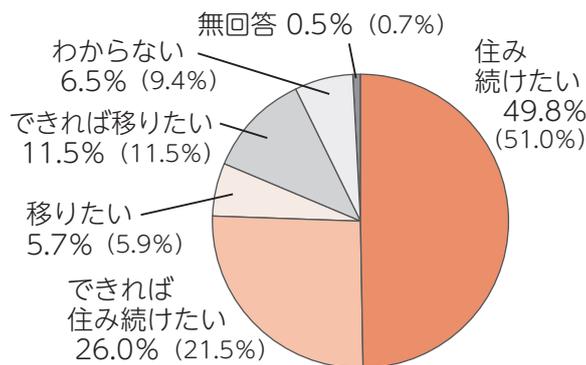
4月1日～5月15日

【回収率】

40.2%
※2,222人の中、894人が回答。

【調査内容】

- ①市民の皆さんの定住意識、まちづくりへの市民参加意識についての質問
- ②第2次伊賀市総合計画再生計画で重点プロジェクトとして掲げている、「医療・地域福祉」、「観光・農林業」についての質問
- ③第2次伊賀市総合計画再生計画に掲げる28項目の政策の満足度について、市民の皆さんの実感に基づく質問
- ④第2次伊賀市総合計画再生計画に掲げる28項目の政策の必要度についての質問
- ⑤暮らしの現状や考えに関する質問



問：今のところに将来も住み続けたいか

()内は、平成25年市民意識調査の数字

【おわりに】

今回実施したアンケート調査により、市民の皆さんからいただいた貴重なご意見を参考に、今後のまちづくりを進めます。

なお、詳しい調査結果については、総合政策課または市ホームページをご覧ください。

◆ 近隣のパートナーと手を携えて

いが・こうか・かめやま いこか連携プロジェクト

【問い合わせ】 総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672

伊賀市だけでは解決できない課題があります

皆さんの暮らしは県境や市域を越えて広がっており、伊賀市だけでは解決できない課題が増えています。また、人口の減少や高齢化への対応などの共通する課題を、効率よく進めていくため、広い地域での連携が必要になっています。

甲賀市・亀山市とともに

隣接する滋賀県甲賀市や、亀山市とは長年培ってきた交流があります。

そこで、共通する課題に連携して取り組むとともに、3市の人口が合わせて約240,000人であるというインパクトや、中部圏と近畿圏を結ぶ立地であること、3市が持つ両圏域とのネットワークを生かした広域連携を進めるため、平成25年度に3市長による「いこか共同宣言」を発表しました。

■ 3市の概要

市	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
三重県伊賀市	558.17	96,140	39,350
滋賀県甲賀市	481.69	93,054	33,678
三重県亀山市	190.91	49,935	20,486
3市合計	1,230.77	239,129	93,514

(人口・世帯数：各市住民基本台帳平成26年6月末現在)

動き出した「いこか」連携プロジェクト

具体的には、3市共通で取り組めるテーマや政策課題を議論し、協働・連携事業を進めるため、昨年度「伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議」を設置しました。今年7月に開催した第3回推進会議では、8つの部会で、今年度の事業計画や取り組み方向の確認を行いました。また会議では、各種事業などの取り組みを進めるとともに、年度末にはその成果報告をする予定になっています。

本紙「い・こ・か」コラムも取り組みの一部

平成23年2月から広報いが市に掲載している「情報交流ひろば」となりまちいが・こうか・かめやまは、連携推進会議広報部会の事業として取り組んでいます。

【設置している部会】

- 総合危機管理部会
- 観光物産部会
- 道路ネットワーク部会
- 文化・スポーツ部会
- 広報部会
- 公共交通部会
- 学校教育部会
- 鳥獣害対策部会

■ 3市の市章



伊賀市



甲賀市



亀山市

◆ 一人でも多くの命を救うため

救急車の適正な利用にご協力ください

【問い合わせ】
消防本部消防救急課
☎ 24-9116 FAX 24-9111

■ 救急搬送は、1日平均13件

昨年の市内の救急件数は4,777件で、前年と比べて67件減少しましたが、市内で1日平均13件救急隊が出動したことになります。

救急搬送の半数以上は入院の必要のない軽症者で、なかには「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」と救急要請する人がいます。

また、「平日休めない」「日中は用事がある」などの理由で、夜間や休日に救急外来を受診する人もいます。



■ 相談ダイヤル24をご利用ください

診察を受けられる病院がわからない場合は、三重県救急医療情報センター（☎ 24-1199）へ、判断に迷った場合は伊賀市救急相談ダイヤル24（☎ 0120-4199-22）で確認してください。

■ 救急車を適正に利用しましょう

救急車や救急医療は限りある資源です。一人でも多くの命を救うため、また、救急医療を安心して利用することができる市にするため、救急車・救急医療の適正利用にご協力をお願いします。